

福音の園だより

【第2号 二〇〇五年二月六日発行】

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・2330・1111

Fax 049・2330・1112

春節の日、母への加護に感謝しつつ

『桜が咲く頃、九五歳を迎える母は昨年十月、グループホーム「福音の園・川越」にオープンと同時に入所致しました。日々、人間の尊厳をもって過せるように配慮がなされ、緑内障で視力を失っているため一つ一つお世話を受けながら、丁寧に感謝の言葉を口に出しております。「眼以外は健康です。母はクリスチャンではありませんが、同志社高女や友の会活動を通して学習したことが人生の最晩年に自らを生かしている。幸せだと思っております。』

この文章は私の今年の年賀状の前半部分です。母の友人―特に故郷・仙台市―から何人も「Tさん良かったですね」とお電話をいただきました。多くの友人が母の生活に安心感を抱き、母を励まして欲しいと語りかけていただきました。

週に一回程度、母の様子を見に福音の園に行っておりますが、環境に順応して元気に暮らしている姿に接し、ほのぼのとした喜びとホームの皆さんのご努力に感謝、感謝の素直な気持ちに浸らせていただいております。他人様に母のお世話をお願いしている「後ろめたさ」に悩んだ時期もございましたが、今は与えられた「役割分担」と受け入れ、日々前向きに過しております。

ます。自宅が「安らぎの場所」に戻りました。何年振りのことでしょうか。「安らぎ」を感じる時、「安らぎ」を与えていただいた方々に感謝しております。何らかのボランティアをやつて報いたい、家族全員の素直な思いです。「あすのことを思い煩うな」一日一日を充実して生きております。ありがとうございます。

(二〇〇五年二月四日 S・S)

「ご家族の声」 私が探していた理想のホーム

拝啓。福音の園だよりのお手紙まことに有難うございました。(中略) 今迄いろいろな施設を見て来ましたが、認識障害、特に比較的若い70才台以下のアルツハイマー患者に対する諸ホームの対応は、残念ながら理念に欠け、又少ないスタッフで多くの患者を見なければならぬ制約はあるとは云え、患者(不満はあっても抗議一つ出来ない)への行動の抑制等、本当に安心してお任せ出来る環境にある処は少なく、どうしたら患者の人間としての尊厳を第一に考え、残された能力を少しでも活かしてくれるホームがないものかと、ホトく思案に暮れておりました処、娘夫婦の紹介で貴ホームに出会うことが出来ました。(中略)

今迄の二年以上にわたる試行錯誤をしながら家族の介護の中で会得したことは、慈雨の如き優しさで見守ってやること「でした。家族の限界を感じながらも…貴ホームの「生きることに不安と死への恐れを持つていらっしゃる方々を「慰め」と云う愛のアイロンで心のしわを伸ばして差し上げるケアを実践していくこと」に大きな共感を覚え、これこそ私が探していた理想のホームであり、このホームに家内をお預けすることが神のご意思であり、そして私共も安心を持って皆様にお任せ出来ると確信するに至りました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。敬具 (O・M)

福音の園に導かれて

母と私たち家族との生活は、少なからず難しさを覚えておりました。健康面では、足腰の衰え以外、特に問題はなかったのですが、勘違いや時間の観念がなくなる等、いわゆる痴呆の症状が目立つようになりました。しかし、本人には「自分は、まだみんなの役に立っている。何か手伝いたい」という気持ちは持っていたようで、「何かお手伝いすることはありませんか?」という母の言葉に、「私たちがやるからゆくりして」と答えるのが常でした。実際、私たちがやるほうがずっと早く疲れずにできるのです。もつと何かしてやりたい、という気持ちは有るものの、私も家内も仕事をしているので、毎日精一杯の所でやっていました。

そんな時期に、ある人を通して「福音の園・川越」を紹介され、母を伴って早速、面接に参りました。ホーム長さんご夫妻の、確信と希望あふれるお話と心暖まる人柄に触れさせていただき、「ああ、このホームは母の為に備えられた場所だ」との思いになり、即お世話になることを決めた次第です。入所後、母を訪ねると、すつきりと平和に満ちた顔つきになっていました。足が弱くなつていて、足元もおぼつかない状態でしたが、前よりずっとしつかり歩けるようになり驚いています。母のことは何も心配する必要が無かったのです。

高齢者の福祉において、「福音の園・川越」の存在意義と役割は計り知れませんが、これからの高齢者問題をリードし、モデルケースとなり得るものと思います。スタッフお一人お一人に感謝しつつ。(M・M)

お知らせ

☆ボランティア募集 ①「生活作り」のパートナー

②「動きたくなくなる環境作り」生活リハビリ ③「癒しの園芸療法(福祉)」を目指しています。ホーム長・杉澤